

計画の期間

計画の期間は、平成29年度から平成33年度までの5年間とします。ただし、社会情勢の変化や福祉を取り巻く状況、計画の進捗状況などに応じて、期間途中であっても必要な見直しを行います。



この計画の詳しい内容は
あわらし社会福祉協議会のホームページでもご覧いただけます



社会福祉法人あわらし市社会福祉協議会
〒919-0621 福井県あわらし市市姫二丁目31番6号
TEL 73-2253 FAX 73-4542
URL <http://www.awara-shakyo.or.jp/>
Facebook <http://www.facebook.com/awarashakyo>

あわらし市社会福祉協議会

(平成29~33年度)

第二次地域福祉活動計画

ダイジェスト版

基本理念

認め合い 支え合い みんなが輝く福祉のまちづくり

誰もがその人らしく安心して暮らし続けられる地域づくりのために、住民一人ひとりが持てる力をつなぎ合わせ、みんなが輝きとともに生きる地域づくりを目指します。

地域福祉活動計画とは・・・

地域住民の生活、福祉ニーズ（要求）や、日ごろの活動点検等から出てきた課題を整理し、“3年から5年後までに私たちのまちをこんなまちにしたい”そして、“そのためにこんな活動をしたい”というみんなの想いや夢を目標に掲げ、みんなの共通理解のもとで、計画的に活動を実践していくものです。

そこで、あわらし市社会福祉協議会では、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを推進するための活動指針として「地域福祉活動計画」を策定しました。



平成29年3月改訂

社会福祉法人あわらし市社会福祉協議会

基本理念の実現のため、次の3つの基本目標を掲げています。

基本目標1【人づくり】 「みんなが力になれるまちづくり」

すべての人々がともに支え合い、身近な地域で誰もが安心して暮らせるようにしていくために、地域において連帯感や思いやりの心を育てる福祉教育を推進するとともに、あらゆる人々がボランティア活動をはじめとする福祉活動に、気軽に参加できる社会づくりをすすめます。

- ご近助力を高める取り組み、地域の見守り体制の構築
- 福祉学習・体験等、身近な場所で講座・研修を開催
- いきいきサロン・通所事業でふれあいの場づくりを提供
- ボランティア講座の開催、リーダーの養成 ■ボランティア情報の収集・提供活動の強化
- 見守り・声かけ・安否確認活動の推進 ■福祉推進員制度の普及と活動しやすい環境づくり
- 福祉教育のニーズ調査を実施し、福祉への理解や知識を深める活動の推進

基本目標2【まちづくり】 「みんなが出会い つながり ふれあう まちづくり」

住み慣れた地域に、気軽に集まり、話し合える場所があることは、安心して暮らせるまちづくりを推進する上で重要な要素です。みんながお互いを理解し、交流できるまちづくり、ふれあいの場・機会づくりをすすめます。

- 区民館や集落センター等で世代間交流事業の推進
- 子どもから高齢者まで、少人数でのいこいの場づくりの促進
- 出会いの場づくり事業の推進 ■共同募金運動の推進
- 在宅介護サービスの安定的供給
- 老人福祉センターの活用促進 ■住民同士の支え合いの啓発、推進
- 地域福祉活動をすすめるための拠点づくりの推進
- 区長 民生委員・児童委員、福祉推進員、行政、関係機関等とつながるネットワークの構築

基本目標3【仕組みづくり】 「みんなの安心・安全を支える まちづくり」

住み慣れた地域で、必要な福祉サービスを利用できる仕組みを充実させ、相談体制の強化と分かりやすい情報提供に努めます。さらに、住民の信頼をより一層得られるよう、社会福祉法人としての存在意義を十分に活かしながら、組織・財源の基盤強化に努め、地域に根ざした住民のための社協を目指します。

- 総合相談体制の充実 ■日常生活自立支援事業の利用促進
- 成年後見事業の推進 ■生活福祉資金貸付事業の推進
- 緊急生活援護事業の推進 ■他機関・他職種との連携強化
- 生活・介護サポーターおよび生活支援員の養成、フォローアップ研修の開催
- 社会福祉大会・福祉まつりの開催 ■社会福祉法人協議会（仮称）の設置
- ホームページ、社協だより、Facebookによる情報提供
- 地域福祉活動を担う人づくり ■社協会員の拡充

この計画を効果的にすすめるために

計画の進捗状況は、社会情勢の変化やあわら市地域福祉計画との整合性を図り、Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Act（改善）の4段階を繰り返し、事業を継続的に改善するしくみを通じて、毎年度の事業計画作成・予算編成の際に反映させ、計画の効果的な推進を図ります。



この計画は、地区福祉懇談会や地区福祉委員会のアンケート結果、市内社会福祉法人関係者等、市民の皆さまの声をもとに改訂しました。